

平成17年第 3 回川崎市議会定例会

請 願 陳 情 文 書 表

(その1)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
86	17. 8. 23	(仮称) 二子多摩川マンション新築工事に関する請願	高津区在住者 ほか2,723名	大 島 明 佐 藤 忠 岡 村 テル子 石 田 和 子 猪 股 美 恵 佐 藤 喜美子	高津区二子3丁目321-1ベルエール跡地に、7階建ての高層マンション「(仮称) 二子多摩川マンション」が建設されようとしています。 近隣住民は急きょ「二子ベルエールの跡地を考える会」を結成し、事業主等と交渉しましたが、近隣住民に対する配慮、譲歩は皆無であるばかりか、全く誠意が見られません。 つきましては、事業主等に行政指導していただきたく次の事項を請願いたします。 1 7、6、5階部分をそれぞれ5、4、3階以下に変更すること。 2 建物の南側道路、東側の住宅の境界をさらに1メートル以上後退すること。東側のベランダを撤去すること。 3 用地の6%以上の公園又は緑地を設けること。 4 エントランスへの出入口の変更。予想される違法駐車を未然に防止する措置をとること。 5 住民との交渉が妥結するまで工事を停止すること。工事車両の一方通行解除（逆走）は一切認めないこと。	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
8 7	17. 9. 2	都市計画道路丸子中山 茅ヶ崎線の小杉十字路 から西明寺間の整備促 進に関する請願	中原区在住者 ほか1,189名	原 修 一 立 野 千 秋 志 村 勝 市 古 映 美 猪 股 美 恵 前 田 絹 子	都市計画道路丸子中山茅ヶ崎線は、主要地方 道の指定を受けた基幹的な道路であります、 小杉十字路から西明寺間は幅6メートルと狭い 上、新しい丸子橋の完成による通行車両の著し い増加により激しい渋滞の毎日です。かつ、市 営バス路線でもあることから、当地域の通行、 通勤、通学などの日常生活は非常に危険な状態 になっております。 つきましては、当該道路の整備について早期 に使用開始が図られますようお願いいたしま す。	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
88	17. 9. 2	市立三田診療所の存続 を求めることに関する 請願	多摩区在住者 ほか1,699名	玉 井 信 重 佐 藤 喜美子 猪 股 美 恵 佐 野 仁 昭	市立三田診療所は、半径500m以内に民間医療施設が整い、診療所の役割を終えたということなどから、平成18年3月末で閉所されることになっております。 しかしながら、地域の最寄りのホームドクターとして重要な役割を担っているばかりでなく、高度医療機器を使用してすぐ診てもらえる診療所として、また、坂の多い特殊な地形の診療所として絶対不可欠な地域医療の場であります。 閉所については、地域住民として納得できるものではなく、住民の総意として存続を請願するものです。なお、財政面上どうしても閉所ということであれば、若干形態を変えてでも存続させてもらいたいというのが大方の意見であります。	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
89	17. 9. 6	難病患者に対する療養 費補助金の廃止の中止 と復活を求めることの 請願	多摩区在住者 ほか936名	潮 田 智 信 猪 股 美 恵 佐 藤 喜美子 井 口 真 美	国が指定する45の疾病の患者に対して、これまで市は療養費を助成してきました。しかし、昨年度、新たに指定された患者には、この助成を行わないことになり、さらに今年度は、今助成を受けている人に対し、10月から廃止することです。病気が治る見通しが立たず、働くこともできない患者にとって、この補助金の廃止は、市に見捨てられたと思うのも当然です。 つきましては、次の事項をお願いいたします。 1 特定疾患療養費補助金の10月からの廃止を中止すること。 2 急に中止ができないのであれば、できる月から復活させること。 3 新たに難病に指定された患者に対しても、再び助成を行うこと。	健康福祉 委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
106	17. 7. 26	国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と川崎市の私学助成制度拡充を求める陳情	多摩区在住者 ほか81名	神奈川県では園児、児童、生徒一人当たりの私学助成金の額が全国最低のレベルの上、市町村からの助成も多くありません。そのために、神奈川私学の学費は全国一高く、経済的な理由で入学を断念、または退学せざるを得ない状況を生み出しています。一方、公立高校では1クラス40名のまま統廃合計画が進められ、私学も選べず、公立へも進めない中学卒業生が出て、県が自ら決めた高校進学率を下回りました。今こそ、公立私立を問わず小・中・高校で少人数学級を目指し、教育費と教職員を増やすことが必要です。同時に私学への助成制度を更に拡充することを求めています。 つきましては、以下5点について陳情します。 1 国に対し、「私立高等学校等への助成金の一般財源化に反対し、国庫補助金の増額を要望する」意見書を提出してください。 2 県知事に対し、私学助成の拡充と30人以下学級の実現を求め、意見書を提出してください。 3 本市における私立幼稚園園児保育料等補助金の拡充を図ってください。 4 私立学校生徒への就学補助制度の新設を図ってください。 5 本市における奨学金制度の拡充を図ってください。	総務委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
107	17. 8. 22	馬絹陸橋下公園内ゲートボール場にトイレの設置を求めることに関する陳情	宮前区 馬絹友好会 ほか116名	宮前区馬絹町内の国道246号線高架下に位置する「馬絹陸橋下公園」は、高齢者の方がゲートボールを楽しむ場として連日にぎわっておりますが、トイレがないため、大変に不自由を感じております。 つきましては、早急にトイレを設置していただくよう陳情いたします。	環境委員会
108	17. 8. 26	個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書提出のための陳情	川崎区 日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 川崎地域連合	政府税制調査会の基礎問題小委員会は、本年6月に「個人所得課税に関する論点整理」を取りまとめた。今後、この論点整理に基づき、平成18年度（2006年度）以降の税制改正案が検討されることになる。 つきましては、貴議会におかれましては、個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書を提出いただきますよう要請いたします。	総務委員会
109	17. 8. 26	就学未満の医療費無料化の早期実現を求めることに関する陳情	川崎区 川崎市の乳幼児医療費無料化を求める連絡会	早期に就学未満の医療費無料化を実施されるよう、次の事項を要望いたします。 1 市の乳幼児医療費無料制度の対象年齢を就学未満に早期に拡大し、所得制限を撤廃すること。 2 国の乳幼児医療費無料制度創設と県の制度拡充の実現に向け、国と県へ意見書を提出すること。	健康福祉委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
110	17. 8. 31	日本たばこ跡地のマンション建造計画改善に関する陳情	高津区 新作第二自治会 ほか575名	高津区新作5-210-4に建設予定のクレストフォルム武蔵新城6新築建設計画は、以前の日本たばこアパートの世帯数が48世帯であったのに対し、80世帯及び80台の駐車場の計画となっている。南北を4m道路で囲まれた場所であり、明らかに事故及び防災面で危険が増すと予想する。また北側には周辺住民の憩いの場である新作第3公園が隣接しており、親子連れ、子どもが多く活用しているため、上記世帯数及び駐車台数の増加は、明らかに事故につながると予想する。 業者側から近隣住民への説明及び話し合いは、いまだ不十分であり、行政側からの業者への指導をお願いするとともに、近隣住民との合意がない条件下での建設許可は、承諾しないようお願い申し上げます。	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
111	17. 9. 1	溝口職員寮の跡地利用 に関する陳情	高津区在住者	高津区溝口の旧溝口職員寮が解体され、跡地が売却されるというお話をお聞きました。本市に住みこれから子育てを迎える者として、切に感じることは子育て環境があまりに厳しいという現実です。特に私どもの住む高津区溝口1丁目付近はマンションが多数存在しており、子育て世帯も非常に多い割には市民の憩いの場となる公園等の施設がありません。 つきましては、どうか地域住民の生活の質の向上にもう一度目を向けていただき、またとないこの機会、跡地を公園等の市民の憩いの場とするような、有効活用についてご考慮いただけたらと思い、陳情いたします。	委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
112	17. 9. 5	女子大通りと市道菅馬場63号線交差点付近に、横断歩道と信号機設置を求める陳情	多摩区 東菅小学校わくわくプラザ保護会 ほか1,155名	菅小学校わくわくプラザに通う子どもたちは、小学校の裏門を利用することになっており、女子大通りから玉林寺につながる、市道菅馬場63号線を通って、わくわくプラザを利用しています。しかし、女子大通りと市道菅馬場63号線の交差点付近は、横断歩道も信号もありません。このため、寺尾台方面に帰る子どもたちは、わずかですが歩道のないところを歩かないと最寄りの信号までたどり着けません。自動車の往来も激しく、右折車両が何台も止まっている関係で直進車が歩行者の方に寄ってくることも多く、かなり危険な状態です。また、浄水場方面に帰る子どもたちにとっても大きくうかいないと、横断歩道がありません。 つきましては、次の事項を陳情します。 1 女子大通りと市道菅馬場63号線が交差する地点の近くに、押しボタン式信号機を付けてください。 2 信号機が付くまでの間でも、まず横断歩道を付けてください。	市民委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
113	17. 9. 5	川崎縦貫高速鉄道の整備計画に関する陳情	麻生区在住者	先ごろ（8月29日）国土交通省から本市の地下鉄計画につき当初の認可計画を中止するとの事業再評価結果が下された。首都圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画については、平成12年に運輸政策審議会答申第18号に集約位置付けられたごとく、都市の発展、鉄道の社会資本的重要性は、今なお減じることのない明らかなことである。ただ、小杉接続変更案も市財政への負担の許容範囲とする模索の努力は理解できても、膨大な借金を市が公債の形で担ってゆくとのこと、一行政区が推進してゆくにはあまりにも大きなものであろう。ならばこのような経済状況の中、どう推進するかであろう。 これからの発展は、羽田のアクセスを抜きに進められないだろう。羽田左側からのアクセスを整備することを中心にし、国、東京都、神奈川県、川崎市、小田急、京急、羽田空港の第三セクター方式にして推進してはいかがだろうか。 このような方式に広く賛同させる意味を込め、議会決議を要望するものです。	環境委員会